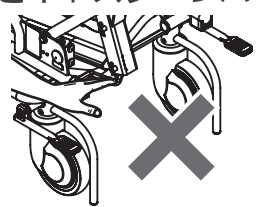
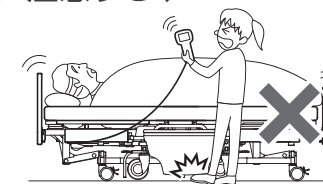
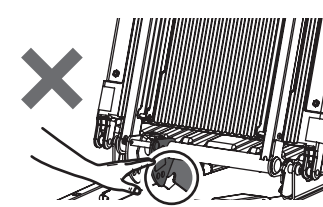


警告 事故やけがの原因となります

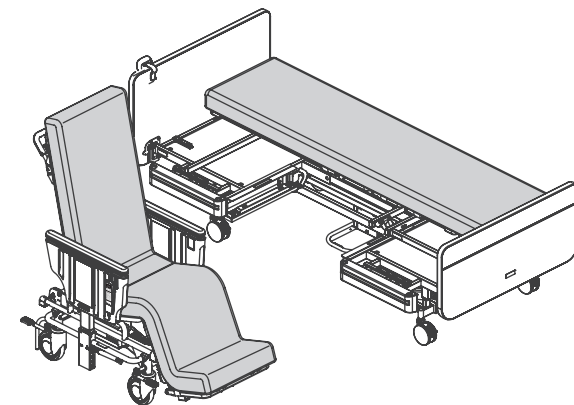
！ 最大使用者体重 100kg を守る 取扱説明書 P.8	○ 車いすの背上げリンクとキャスターレバーの左右連結リンクの間に手指を入れない 取扱説明書 P.20 
！ 介護者のみが操作を行う 周囲の状況が見えない状態で操作しないでください。ベッド下降時に充電器がはさまれる等、予期せぬ事故につながります。 取扱説明書 P.8	○ ベッド状態では、車いす用手元スイッチの操作を行わない 取扱説明書 P.23
！ 設置条件を守る 取扱説明書 P.10	！ 可動部に要介護者・介護者・周囲の人の体や物がないことを確認してから、手元スイッチの操作を行う（特にベッド下降時の足のはさみ込みに注意する） 取扱説明書 P.27 
！ 要介護者がベッド・車いすから立ち上がり等する場合は、必ず介護者のサポートのもと行い、身体状況に合わせてステップ等の補助具を使用する 介助しやすいように、ベッド・車いすの座面高さを高く設定しており、足がつかない可能性があります。 取扱説明書 P.12	○ ベッドの背ボトムフリーホイール機構に手指をはさみ込む可能性があるため手指を入れない 取扱説明書 P.28 
！ 電源コードや手元スイッチのケーブルがベッド本体フレームにはさみ込まないように注意する 取扱説明書 P.12	！ 要介護者の車いすからの転落、車いすの転倒に十分注意して使用する 特に、車いす停止時には、キャスターが前後方向に向いていることを確認してロックする。 取扱説明書 P.14 
○ 車いすのバッテリー充電中は、ベッド・車いすの操作は行わない 充電器のケーブルがひっぱられる、あるいは、ベッド下降時に充電器がはさまれる等により、感電・火災のおそれがあります。 取扱説明書 P.14	！ アームレストを上げた後は、安全マークが見えていることを確認する 安全マークが見えていないと高さが不十分なため、要介護者が側方に倒れ、転落等の事故やけがの原因となります。 取扱説明書 P.16
！ 車いすから手を離す場合は前後のキャスターをロックし、車いすを固定する 取扱説明書 P.16	！ アームレストを上げた後は、アームレストを上下に動かし、ロックが確実にされていることを確認する 正しくロックがされていないと、アームレストの高さが急に変わり、転落等の事故やけがの原因となります。 取扱説明書 P.17
！ アームレストを上下する時は、手や足などがはさまれたり、車いす用手元スイッチや充電器のケーブルがはさまれたりしないように注意する 取扱説明書 P.17	○ フットレスト上に立たない 介助時に車いすに体重をかけない 取扱説明書 P.18

△ ご使用の前に取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

離床アシストロボット リショーン Plus 簡易操作ガイド

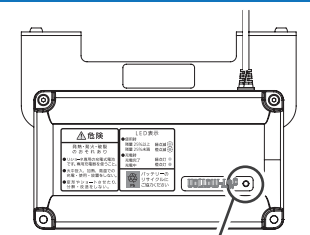
品番 XPN-S10601

△ このガイドでは操作の基本をご案内しています。ご使用の前に取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みうえ、正しく安全にお使いください。



充電時のお願い

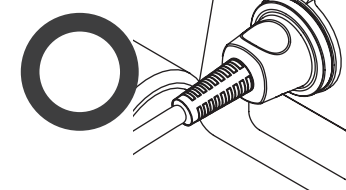
- バッテリー LED が **橙色** に点滅したら必ず充電を行ってください。
 - ・この状態で放置すると、**バッテリーの性能が低下**します。
 - ・**毎日充電** することをお勧めいたします。
 - ・充電は専用の充電器で行ってください。（合体しても自動で充電はされません。）



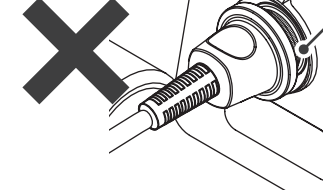
バッテリー LED

- 充電の際は下記 3 点を必ずご確認ください。
 - ・充電プラグが **奥まで** 挿し込まれていること。（下図）
 - ・充電プラグを差し込んだ際にバッテリー LED が **橙色** に点灯していること。
 - ・8 時間以上の充電後、充電プラグを抜く時に、バッテリー LED が **緑色** に点灯していること。

正しい接続状態



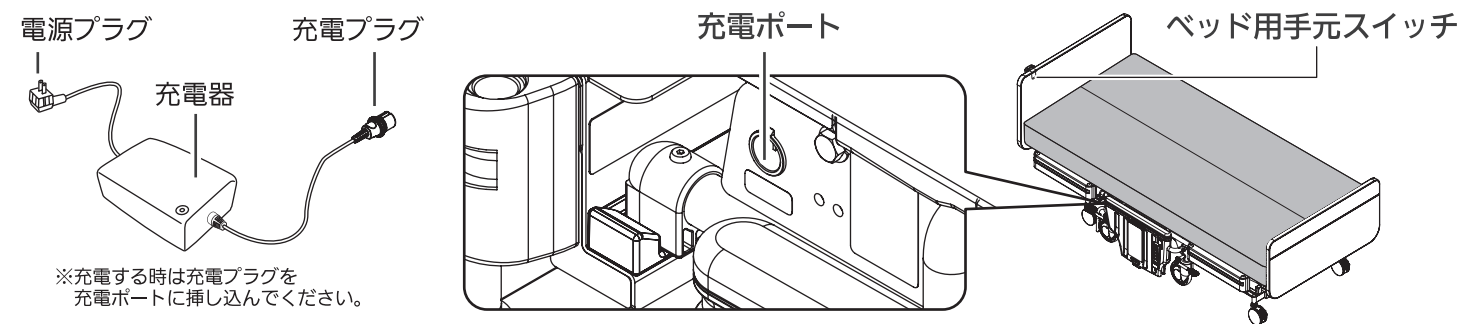
半挿入状態



赤いゴムリングが見えている場合は奥まで差し込めていない状態です。

- 長期間使用されない時は、ベッドに合体した状態で保管頂き、6 ヶ月に 1 回を目安に充電ください。（この場合の充電時間は 24 時間となります。）
 ※ ベッドに合体させることにより、保管時のバッテリー消費が抑えられます。

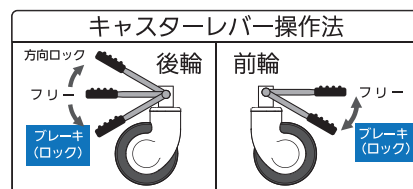
取扱説明書 P.70



ベッドにする

1 前後キャスターをロックする

- ・事前に車いすをベッド横に移動する。



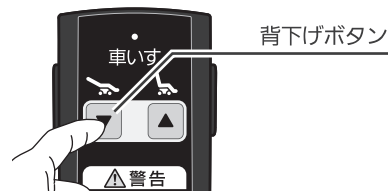
2 手押しハンドルを収納する

- ・左右のロック解除レバーを両方握りながら奥に倒す。



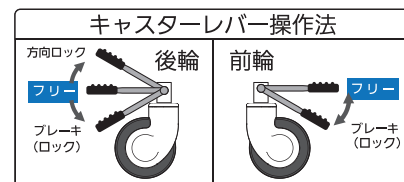
3 車いすをフルフラットにする

- ・背下げ動作が止まるまで背下げボタンを押し続ける。



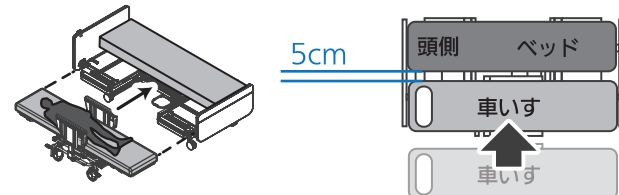
4 前後キャスターをフリーにする

- ・誤って、後輪キャスターを方向ロックにしない。



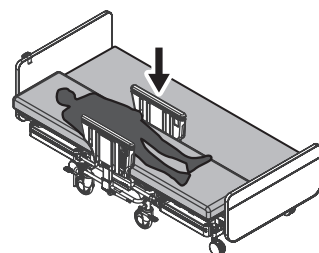
5 ベッド凹部に押し込む

- ・ベッドと車いすの間を5cm程度にする。



6 奥側アームレストを下まで押し下げる

- ・下まで押し下げないと、車いすを完全に押し込めないので注意する。



7 車いすを完全に押し込む

- ・ベッド用手元スイッチに「合体できます」と表示されたことを確認する。



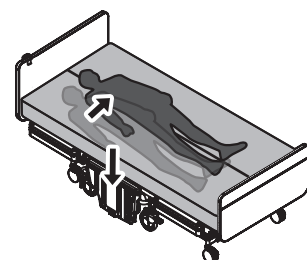
8 合体ボタンを押し続ける

- ・ベッド用手元スイッチに「分離動作完了」と表示されたことを確認する。

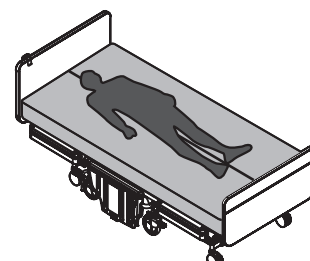


9 要介護者をベッド中央に移す

- ・スライディングシート等をご活用ください。



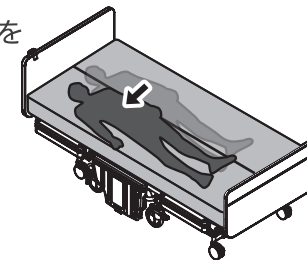
< ベッド状態 >



車いすにする

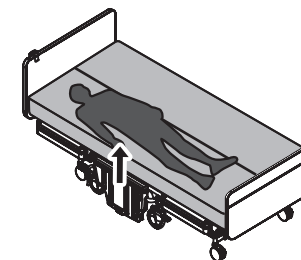
1 要介護者を車いす側に移す

- ・スライディングシート等をご活用ください。



2 手前側アームレストを引き上げる

- ・ロック解除レバーを操作しない。
- ・引き上げ後、ロックが確実にされていることを確認する。



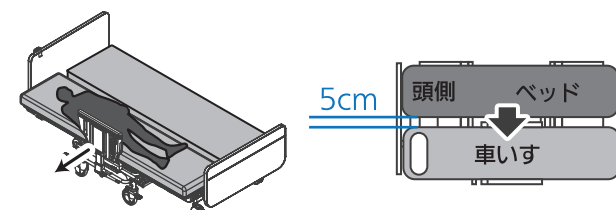
3 分離ボタンを押し続ける

- ・ベッド用手元スイッチに「分離動作完了」と表示されたことを確認する。



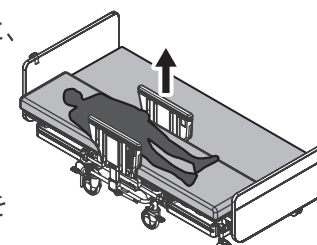
4 車いすを引き出す

- ・ベッドと車いすの間を5cm程度にする。



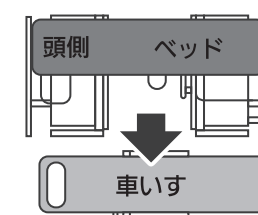
5 奥側アームレストを上へ引き上げる

- ・上までに引き上げないと、車いすを完全に引き出せません。
- ・ロック解除レバーを操作しない。
- ・引き上げ後、ロックが確実にされていることを確認する。

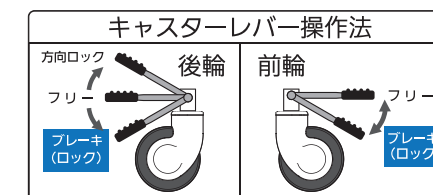


6 車いすを完全に引き出す

- ・ベッドとの干渉がない位置まで引き出す。



7 前後キャスターをロックする



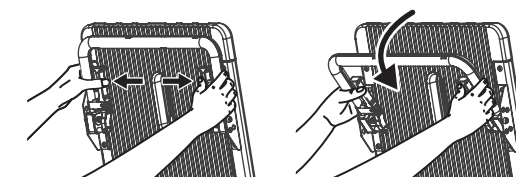
8 リクライニング姿勢を調整する

- ・好みの角度まで、背上げボタンを押し続ける。
- ・操作時は可動部に身体の一部はさまれないように注意する。



9 手押しハンドルを引き出す

- ・左右のロック解除レバーを両方握りながら手前に倒す。



< 車いす状態 >

- 車いすを移動させる前に、アームレストの安全マークが両側ともに見えていることを確認する。

